

【武蔵野】むさしの

武蔵野は武蔵国の平野、広義には入間川・荒川・多摩川に囲まれた台地。現在の東京都・埼玉県・神奈川県の一部にまたがります。狭義には東京都西部の郊外・住宅地をいい、私の住む杉並区は武蔵野の真っ只中に位置しています。杉並区は荻窪・井荻・井草など草原を連想させる地名が多く、区の西隣は武蔵野市です。武蔵野市と隣の三鷹市に跨る玉川上水や井の頭公園は武蔵野の面影を今に残す場として都内では知られています。

このように現在、武蔵野は「武蔵野の面影」という言葉で語られることが多いようです。

このフレーズは私が知る限り、国木田独歩の『武蔵野』「武蔵野の俤は今わずかに入間郡に残れり」が始まりと思われま。

私の住まいの近くに、杉並区立中央図書館があります。二階の一角に杉並区の資料コーナーがあり、明治以降のこの地の写真を見ることができます。国木田独歩（明治4年1871～41年1908）は正に明治を生きた人ですが、明治のこの地は田畑・雑木林・小川・水車・草原などどこを見ても武蔵野そのものとししか云いようのない風景が広がっています。なのに彼は何故「武蔵野の俤」と「おもかげ」を副えて語るのでしょうか。

実は武蔵野は江戸時代に、風景を大きく変えているのです。

- ・行末は空も一つの武蔵野に草の原より出づる月かげ 『新古今和歌集』藤原良経
- ・武蔵野は月の入るべき嶺もなし尾花が末にかかる白雲 『続新古今和歌集』源道方

この辺りが出典なのでしょうか、昔は「武蔵野は秋の千草に限りなく、月の入るべき山もなし、草より出でて草にぞ入ぬる」といわれていたそうです。

その景色はサントリー美術館本・島根県立美術館本・東京国立美術館本などの〈武蔵野図屏風〉に俤ばれ、深い草原に月が隠れ、遠景に富士を望む様がよくわかります。

http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/sam/ja/collection/colle_01_02.html

歌枕としての武蔵野は古くは紫草の生息する地として多くの歌が残されています。『更級日記』には「むらさき生ふと聞くも、蘆荻のみ高く生いて、馬に乗りて弓持たる末見えぬまで高く生ひしげりて、中をわけ行くに…」と実景の武蔵野が記されています。

- ・武蔵野やゆけども秋のはてぞなきいかなる風か末に吹くらむ 『新古今集』源通光

日本人は広い場所が苦手なののでしょうか。広大な地を把握しきった歌は希なように思われます。この歌も行けども行けども草原しかない武蔵野の広さに呆れ果てているように思われます。このような風景のさびしいさ故、秋の風情として詠んだ歌が多く、武蔵野は秋の季語であるかのような感覚があります。

いずれにしても我々がイメージする武蔵野の面影と大きく異なることに気が付くと思います。

即ち中世の歌には雑木林が詠まれていません。〈武蔵野図屏風〉にも雑木林は描かれていないのです。

武蔵野の代名詞ともいえるクヌギ・コナラ・エゴノキなどの落葉広葉樹を主とする雑木林は、実は

江戸時代人工的に植えたものだからなのです。大消費地江戸に近いこの地は、赤松を含め、薪・炭にする樹木を大量に植えたようです。

国木田独歩の云う「俤」は絵や歌などで知る江戸時代前の武蔵野であり、我々の云う「武蔵野の面影」の前時代の面影なのです。

国木田独歩の他にも近代に入って武蔵野に深く関わった文化人はいます。この地の風情を書き上げた徳富蘆花、植物学者牧野富太郎など多くの文化人に武蔵野の自然は愛されつづけました。

杉並区の南の世田谷区に徳富蘆花を記念した蘆花公園(芦花恒春園)があります。

徳富蘆花が後半生を過ごした屋敷跡を記念公園にしたもので、くぬぎ林など「面影」をわずかに残しています。氏のここでの暮らしは「みみずのたはごと」に綴られています。

さて武蔵野に関わる茶道具といえばススキと月の色絵茶碗や蒔絵棗を思い浮かべることでしょう。古今制作されているようで秋の風情を醸しだしてくれます。

あまり知られていないようですが、武蔵野を代表する窯に玉川焼があります。

東京都稲城市坂浜で焼かれたものです。既に寛永年間には存在し、明治の中ごろまで続いたようです。この地は古く武蔵国国分寺の瓦を焼いたところですのでそれなりの土があったのでしょう。戸山焼(尾張徳川家江戸下屋敷お庭焼)の陶工によるものらしく、裏千家十一代玄々斎の指導も受けました。楽焼から仁清写しまで茶碗・水指・香合と幅広く、「玉」の窯印が目印です。

私は玄々斎箱書きの御本写し茶碗を拝見したことがあります。土味も柔らかくなかなか味わい深い茶碗でした。現存する数は少ないようです。

<http://www.morita-fumiyasu.com/>

~ Copyright (C) 2011 ~私の書齋~ 森田文康. All Rights Reserved.~